

## 赤こんりポート

東恵子リポーター



## 訪問医療に携わる赤松園子医師

足腰が弱って通院できなくなった患者と出会い、「訪問医療」の必要性を実感したという赤松園子医師。自宅での暮らしを医療面で支えるクリニックを2023年1月に開院しました。取材を始めるやいなや、自宅で容体が急変した患者の家族からの電話で、いったん日延べになりました。別の日に何うと、その時の患者さんは快方に向かわれたとのこと。「こんなに気が抜けない医療をなぜしているのか？」と何うと、「かかりつけの医師との役割分担でしょうか。定期的に訪問して、ご家族やケアマネジャー、訪問看護・介護と連携していき、自宅での暮らしを支えたいのです」と赤松医師。「患者さん本人の思いを中心に、家族や周りの人の希望もくみ入れながらケアをしていく。近江八幡が、本人に寄り添い、本人が選択できる、そんなまちになるように」と爽やかな笑顔で話してくださいました。

## 赤こんりポート

松村美沙枝リポーター

健康ふれあい公園が集いの場に  
スポーツとカレーの祭典

健康ふれあい公園で「SPORTS & CURRY FES」が8月27日に開催されました。今年度オープンしたスケートパークでの無料体験教室や、屋根付き多目的広場と通路でのマルシェ、サッカー場でのサッカー大会と3つの催しのコラボです。朝から多数の来場者でにぎわい、初めてのスケートボード体験やカレーの食比べ、ハンドメイドマルシェなどを皆さんそれぞれに楽しんでいました。



## 赤こんりポート

馬場利男リポーター

一人ひとりができることを考えてみよう  
森林と琵琶湖のつながり in 琵琶湖博物館

近江八幡市子ども会育成者連合会主催の環境研修会が、8月5日に琵琶湖博物館で開催され、ジュニアリーダー26人と引率者8人が参加しました。

午前中のテーマは「ろ過の実験」。砂や腐葉土、コケ、砂利など数種類から、リンのろ過に最適な4種類を選択し、どの順番でペットボトルに入れたら良いか考え、基準を判定しました。グループのリーダーたちはいろんな意見を出しながら、リンが少なくなるよう実験しました。

午後からは、グループごとに榎日吉の社員と博物館内のクイズラリーに挑戦し、琵琶湖の生き物や植物を詳しく学びました。琵琶湖の水環境を守るために何ができるかを考えることができた、意義のある研修会だったと思います。

## 赤こんりポート

渥美勉リポーター

未知の生物を生み出してみよう！  
子ども向けアートワークショップが大盛況

8月20日、永原町元の古民家で、BIWAKO ビエンナーレ出品作家の河合晋平さんと宇野裕美さんが講師となり、透明チューブ・針金・ストレッチ布などの材料を自由に組み合わせ、「未知の生物」をつくるワークショップを開催。合計30人を超える多くの参加者でにぎわいました。この企画はつくるだけでなく、展示するところまで参加できるというユニークな試みで、10月後半に古民家の蔵を利用し子どもたちの作品を展示します。保護者からは「普段はあまり触れることがない素材や、危険だから挑戦できない作業ができてよかったです」との声がありました。

10月からさまざまなアートイベントが開催されます  
詳しくは ▶ <https://megururi.jp/art-omi8man/>

9月1日～10月1日

100周年を記念して  
木川かえる回顧展&トークショーが開催

本市出身のジャズ漫画家で、上方演芸の殿堂入りを果たした故・木川かえるさん（1923年8月22日生まれ）の生誕100年に合わせた回顧展が、旧伴家住宅で開催されました。

回顧展には、近江商人の心得を説いたカエルの「いろはかるた」や「ステージ漫画」、「マッチ棒で描いた東海道五十三次」などの作品が100点以上展示されました。

15日のトークショーでは、木川さんと親交のあった漫画家・たなべたいさんや社訓家訓研究家・大塚融さんが、生前の木川さんとの思い出などを懐かしみながら話しました。

寄贈をありがとうございます  
大切に使用させていただきます

8月23日 国際ソロプチミスト近江八幡から



子どもたちへの教育支援や子育ての活動に取り組む国際ソロプチミスト近江八幡から、未来を担う子どもたちの療育事業の支援になればと、子ども発達支援センターに療育遊具を寄贈いただきました。

8月24日 滋賀県電気工事工業組合から



県内の電気工事業者で組織される滋賀県電気工事工業組合から、9月1日の防災の日を前に、災害時に役立ててと防災機器（ポータブルワイヤレスアンプ・マイクのセット1式）を寄贈いただきました。

8月26日

学んで競って再発見  
近江八幡子どもクイズ大会開催

NPO法人秀次倶楽部の主催で、「近江八幡子どもクイズ大会」がびわこ揚水土地改良区で開催されました。市内小学校の3～6年生18チーム54人が参加し、うちで答える3択のリスニング問題や〇×ゲームの決勝に挑みました。

「本市で有名なこんにやくの色は?」「名誉市民第1号は誰?」といった問題に、子どもたちは元気いっぱいうちわを掲げ、問題の正誤にチームで一喜一憂していました。子どもたちはクイズ大会終了後、会場となった揚水場を見学しました。

8月31日

「全国中学校ソフトテニス大会」  
野間結菜さんが女子個人戦・団体戦優勝を報告

今年8月21日から23日までの3日間、愛媛県今治市で開催された「第54回全国中学校ソフトテニス大会」で、大阪市の昇陽中学校に通う野間結菜さんが女子個人戦・団体戦ともに優勝を果たしました。野間さんは同中の竹田羽花さんとペアを組み、ダブルスで優勝。今回で全国大会での優勝は5回目となりました。

市役所を訪れた野間さんは「最初はうまくプレーができず、相手にのみ込まれそうなプレーになることもありましたが、『優勝するぞ』という強い気持ちで戦いました」と大会を振り返りました。小西市長は「今後つらいこともたくさんあるでしょうが、続けることが大切です。市民全員で応援しています」とねぎらうと、野間さんは「国体やインターハイでも良い結果を残したい」と意気込みを語りました。